

2022年2月15日

### プローチダ「イタリア文化首都 2022」記念 WEB コンサート エンツォ・アヴィタービレ『アコースティック・ワールド』

イタリア南部のナポリ湾に浮かぶ小さな島「プローチダ」(イタリア・カンパニア州ナポリ県)が2022年の「イタリア文化首都」<sup>(注1)</sup>に選ばれました。プローチダ島は1994年の大ヒット映画『イル・ポスティエーノ』<sup>(注2)</sup>の舞台となった、カラフルな家が立ち並ぶ漁村で、近年では観光にも力を入れてきました。日本でも日本旅行業協会(JATA)の「ヨーロッパの美しい村30選」に選ばれたり、JAXA宇宙飛行士の野口聡一さんのTwitter上で、宇宙から撮影したプローチダ島の写真とともに「ネコの形をした島」「ナポリ湾の宝石」として紹介されたりしました。<sup>(注3)</sup>

今回、イタリア文化会館-大阪(大阪市北区中之島、代表:ジョヴァンニ A. A. デサンティス/在大阪イタリア総領事館文化担当アタシェ)は、プローチダが2022年のイタリア文化首都になったことを記念し、<sup>ニャンニャン</sup>2月22日(火)の「ネコの日」の午前10時から2022年12月末日まで、イベント特設サイト「IIC Osaka Eventi Online」(<https://eventionline.net/>)上で、ナポリ出身の人気サックス奏者/シンガーソングライターのエンツォ・アヴィタービレの独占WEBコンサートを無料公開いたします。

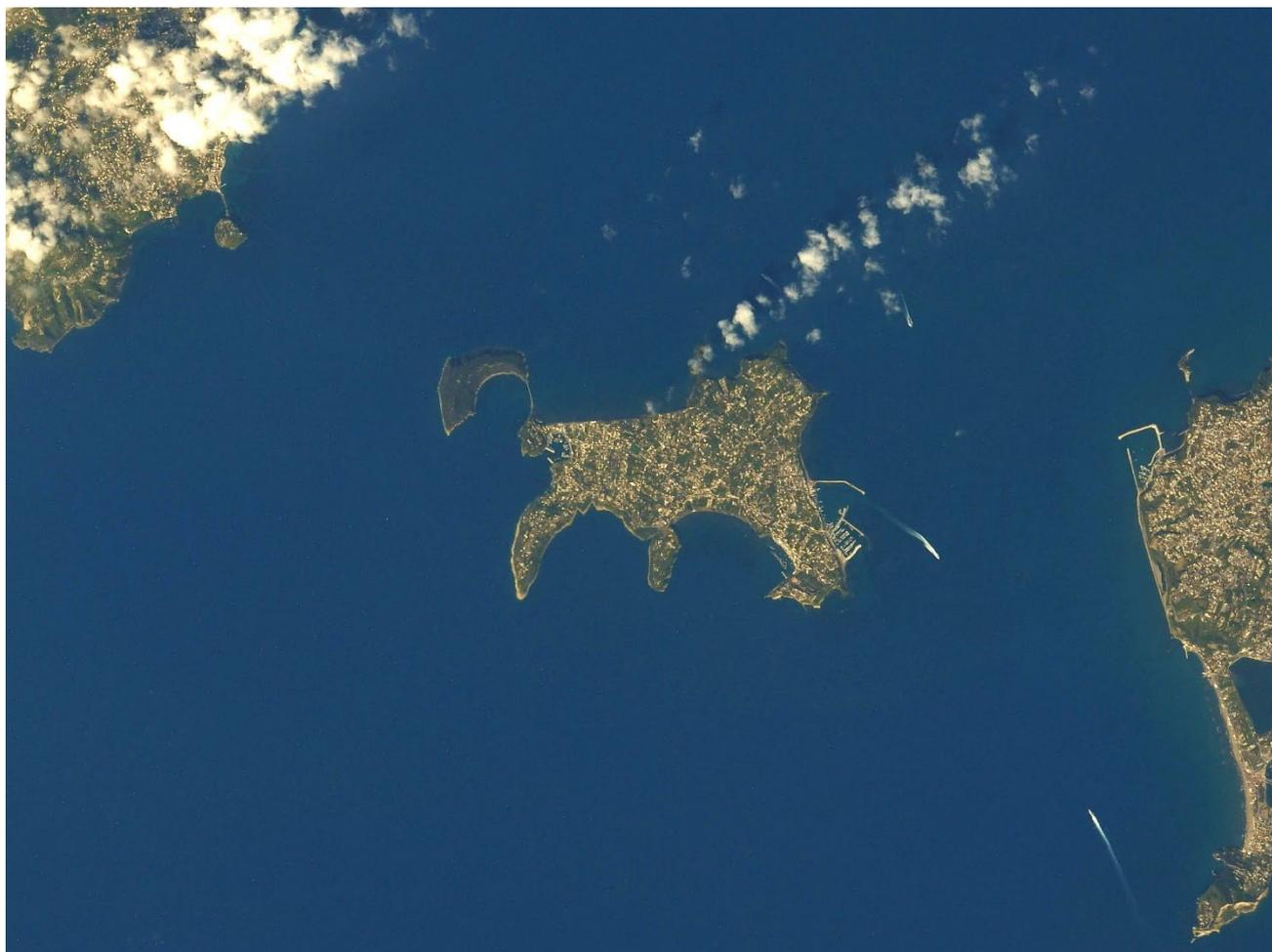
アヴィタービレは、プローチダやソレントを含むナポリ文化圏の伝統音楽に根ざしつつも、アメリカの黒人音楽をはじめ様々な音楽要素を含むサウンドと、ナポリ方言で歌うスタイルで人気を博しています。また、その活躍はイタリア国内に留まらず、ジェームス・ブラウン、ティナ・ターナー、マーカス・ミラー、リッチー・ヘブンス、ランディ・クロフォードといった日本でもお馴染みのビッグ・ネームたちとも共演しているほか、映画『羊たちの沈黙』で有名なジョナサン・デミ監督がアヴィタービレに惚れ込み、彼の密着ドキュメンタリー映画『エンツォ・アヴィタービレ』を製作し、同作が第69回ヴェネツィア国際映画祭で上映されたことでも話題になりました。

今回のWEBコンサートでは、**プローチダ島の風景映像をふんだんに挿入**し、地方、地方で異なる魅力を見せるイタリア文化の多様性を日本の皆さまにご紹介することで、イタリアをより深くご理解いただき、より身近に感じていただくとともに、新型コロナウイルス感染症で打撃を受けたプローチダの観光業界や、これまでイタリア旅行を取り扱ってくださった日本の旅行業界の皆さまを微力ながら応援したいという気持ちで企画を進めました。

**(注1) イタリア文化首都制度は、文化財や景観の維持、観光客へのサービス充実などを目的として2015年から始まりました。選出されると、その年の観光に関わる整備事業等の恩恵が受けられます。**

**(注2) 欧米のみならず日本でも高く評価された名作で、日本アカデミー賞最優秀外国映画賞を受賞したり、キネマ旬報ベスト・テンの外国映画ベスト・ワンに選ばれたりしました。**

(注3) プローチダ島の写真



JAXA 宇宙飛行士 野口聡一 Twitter より引用

なお、**WEB コンサート（約 50 分）の構成**は以下のとおりです。

1. ライモンド・アンブロジーノ プローチダ村長ご挨拶
2. エンツォ・アヴィタービレの演奏

演目

- 1) Don Salvato' (ドン・サルヴァトーレ)
- 2) Tutt' equal song' 'e criature (子どもたちは皆平等)
- 3) Thalassa cardia (海 - 心)
- 4) Madonna delle grazie (恵みの聖母)
- 5) Napoli Nord (ナポリ・ノルド)
- 6) Figlio'la ca guarde 'o mare (海を眺める娘)
- 7) Chest'e' l'Africa (これがアフリカ)
- 8) Mane e Mane (手に手をとって)
- 9) Soul Express (ソウル・エクスプレス)
- 10) Salvamm o' Munn (世界を救おう)

※ 演奏中にプローチダ島の美しい風景映像がふんだんに挿入されます。

## <出演>



エンツォ・アヴィタービレ (ヴォーカル/サクソ他)

エミディオ・アウージェットロ (パーカッション)

ジャンルイージ・ディ・ファエンツァ (ギター)

## <主催>

### イタリア文化会館-大阪

イタリア外務・国際協力省の海外出先機関である当館は、世界に約 90 あるイタリア文化会館の一つとして、日本におけるイタリア文化の普及と日伊文化交流・友好の推進を主たる目的として活動しています。

※ 詳細につきましては添付別紙「イタリア文化会館-大阪とは」をご参照願います。

## <イベント特設サイト IIC Osaka EVENTI ONLINE について>

イタリア文化会館-大阪は、日本におけるイタリア文化の普及と日伊交流・友好を推進するという使命を遂行するために、その活動の一環として、イタリア人アーティストを日本へ招聘し、演奏会・展覧会・映画上映会・演劇公演など様々な文化催事を開催してきました。現在は新型コロナウイルス感染症の影響で、イタリアからアーティストを招いてイベントを開催することができませんが、コロナ禍においてもイタリアの文化や日本とイタリアの間の交流や友情が途絶えるわけではありません。

そこで、2020年5月に"La cultura non si ferma" (文化は歩みを止めない) をスローガンとして、イベント特設サイト「IIC Osaka EVENTI ONLINE」(「イー・イー・チー・オオサカ・エヴェンティ・オンライン」と読みます) が開設されました。同サイトでは、これまでにイタリア文化会館-大阪が招聘したイタリア人アーティストや、今後の来日を検討しているアーティストたちから日本の皆さまへ寄せられた様々なビデオメッセージやパフォーマンスを日本語字幕付きでご覧いただけます。(視聴無料)

▶ イベント特設サイト「IIC Osaka EVENTI ONLINE」

URL: <https://eventionline.net/>

QR コード



## エンツォ・アヴィタービレ (ENZO AVITABILE)



1955年3月1日ナポリ生まれのサクソ奏者／シンガソングライター／作曲家。幼くしてサクソを始め、7歳で初めて人前で演奏。その後、ナポリ音楽院をフルートで卒業。

アヴィタービレの最初のレコーディング経験は、ピーノ・ダニエレの1stアルバム「Terra mia」(1977年EMI)に参加した1970年代半ばまで遡る。その数年後、エドアルド・ベンナートの2枚のアルバム「Uffa! Uffa!」と「Sono solo canzonette」でも演奏した。

1982年、アルバム「Avitabile」でソロデビュー。同作にはナポリのバンド「Showman」のヴォーカルでアヴィタービレの友人のマリオ・ムゼッラに捧げた曲「Dolce Sweet M」も収録されている。そのサウンドの方向性は、南イタリア・ナポリの伝統音楽に根ざしたものであったが、それでいながらアメリカのブラック・ミュージックに強い影響を受けていた。そうした音楽スタイルは、その後の数年間にさらに洗練されていくこととなる。初期の大ヒット曲の中に、1986年のアルバム「S.O.S. Brothers」の収録曲「Soul Express」がある。

1990年代には、より実験的な活動に注力した。ランディ・クロフォードと「Leave Me or Love me」をデュエットしたり、ジョルジアに楽曲を提供したり、また、ラップ・ミュージックにも注意深く関心を寄せるようになった。

2000年代には、アルバム「Sacro Sud」(2006)で聖楽を取り上げるなど、より多様なジャンルの音楽に取り組んだ。2009年、アルバム「Napoletana」で、テンコ賞の「方言による最優秀アルバム賞」を受賞。2012年には、アヴィタービレの代表的アルバムのひとつ「Black Tarantella」をリリース。この作品には、ピーノ・ダニエレ、フランコ・バッティアート、ボブ・ゲルドフ、マウロ・パガーニ、Co' Sangなど錚々たるアーティストが参加している。そして今日までずっと、アヴィタービレは南イタリア音楽の最重要アーティストの一人として確固たる地位を保持している。

2018年、初めてサンレモ音楽祭に出場し、ペッペ・セルヴィッロとのデュオで「Il coraggio di ogni giorno」を披露した。

アヴィタービレは、ジェームス・ブラウン、ティナ・ターナー、マーカス・ミラー、リッチー・ヘブンス、ランディ・クロフォードといった日本でも馴染みのビッグ・ネームたちとも共演している。

2012年、「羊たちの沈黙」で有名なアメリカの映画監督ジョナサン・デミは、アヴィタービレのドキュメンタリー映画を製作し、その作品はヴェネツィア国際映画祭で上映された。

2017年、アヴィタービレは、映画「Invisibili」(エドアルド・デ・アンジェリス監督)のサウンドトラックでダヴィッド・ディ・ドナテッロ賞を受賞。

## プローチダ島はどこにある？



プローチダ島はナポリ湾に浮かぶ人口約1万人の小さな島です。

鹿兒島市の姉妹都市であるナポリ市や、熊野市の姉妹都市であるソレント市と同じく、カンパニア州ナポリ県に所属し、同じ文化圏に含まれます。

※ 本状に記載されている内容は発表時点の情報です。予告なしに内容が変更となる場合もあります。  
あらかじめご了承ください。

### <お問い合わせ先>

イタリア文化会館-大阪

担当： 山本 慶子

住所： 〒530-0005 大阪市北区中之島 2-3-18 フェスティバルタワー17階

TEL： 06-6227-8556 FAX： 06-6229-0067

Eメール： [keiko.yamamoto@esteri.it](mailto:keiko.yamamoto@esteri.it)

---

## イタリア文化会館 – 大阪 とは

イタリア外務・国際協力省の海外出先機関である当館は、世界に約 90 あるイタリア文化会館のひとつとして、日本におけるイタリア文化の普及と日伊文化交流の振興を目的として活動しています。

日本におけるイタリア文化会館は 1941 年に東京に、1978 年に京都に開館しました。イタリア文化会館-京都は 2010 年に大阪・中之島に移転、イタリア文化会館-大阪となりました。

当館は音楽、美術、映画、演劇、ダンス、ファッション、デザイン、写真等の多様な分野で文化催事を多数企画・開催するほか、日本の諸機関や企業などが主催するイタリア関連イベントの積極的な後援も行っています。また、ネイティブ教授陣によるイタリア語コースやイタリア文化コースを開講し、図書コーナーでイタリア語・イタリア文化についての図書や映像（書籍約 4500 冊、DVD 等）、イタリア語教授法の資料を提供しています。

※ 現在は、新型コロナウイルス感染症対策のため、イタリア語・イタリア文化コースの開催（オンラインレッスンを除く）および図書コーナーの運営・一般来館の受付を休止しております。

〒530-0005

大阪市北区中之島 2-3-18 中之島フェスティバルタワー17 階

Tel: 06-6227-8556

Fax: 06-6229-0067

<https://icosaka.esteri.it>

代 表 者：在大阪イタリア総領事館アタシェ（文化担当）

ジョヴァンニ A. A. デサンティス（Giovanni A. A. Desantis）

開館時間：月曜日・水曜日 10:00-13:00 / 14:00-18:30

火曜日・木曜日・金曜日 10:00-13:00 / 14:00-18:00

休 館 日：土・日および規定の祝祭日